

注意報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察 注意報第6号

普通期水稲 トビイロウンカ

1. 発生地域（対象地域） 県内全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 8月下旬の巡回調査（91筆）の結果、発生圃場率は56.0%（平年 27.8%）、株当たり虫数は0.4頭（平年 0.1頭）であり、短翅型雌成虫率は59.1%（前年 53.5%）と高かった（図1, 2）。
- (2) 8月6半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、寄生株率は37.0%（平年 21.3%）、株当たり虫数は1.64頭（平年 0.23頭）であった。また、短翅型雌成虫率は75.0%（前年 69.6%）と高かった。
- (3) 気象予報（福岡管区气象台、8月27日発表）によると、向こう1ヶ月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

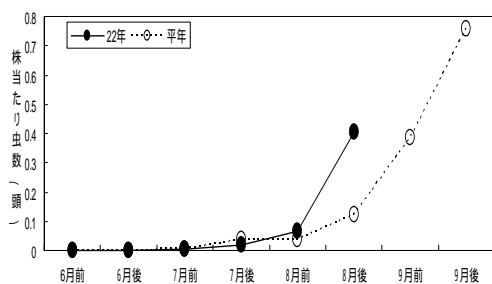


図1 普通期水稲・トビイロウンカの株当たり虫数の推移

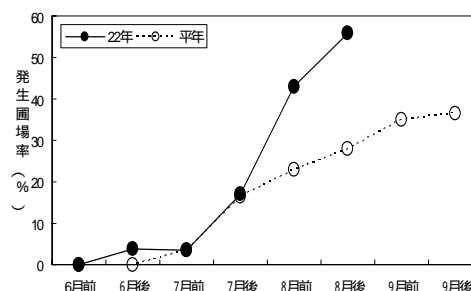


図2 普通期水稲・トビイロウンカの発生圃場率の推移

4. 防除対策

- (1) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、圃場の見回りを徹底し、圃場全体の発生状況を把握して防除を行う。
- (2) 9月上旬の要防除水準は株当たり成幼虫数が5頭以上である。
- (3) 防除実施後もその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (4) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に
： 行う。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ 長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027